

ご自由にお持ちください

病院広報誌

第7号



きずな

●特集 循環器内科

臨床工学技士との連携

●作業療法士・言語聴覚士が着任しました

●気になる目の病気～市立小樽病院眼科

●地域医療連携室 information

- ・合同健康教室開催のお知らせ
- ・がん相談支援センター

●information

- ・内分泌・糖尿病外来新設
- ・新市立病院の免震構造について
- ・潮ねりこみ参加など

小樽市内の中学生が、職場見学のため市立小樽病院を訪れました。手術室を見学した生徒さんは、将来看護師を目指しているとのことです。真剣なまなざしで看護師の説明を聞いていました。

表紙は放射線治療に使用する「リニアック」の説明を受けている様子です。



外来診察受付時間

※休診、代診、時間変更となる場合もありますので、詳細はホームページかお電話にてお問い合わせください。

市立小樽病院

小樽市若松1丁目2番1号 TEL 0134(25)1211

診療科	時間	月	火	水	木	金	専門外来・受付時間など
内科(再来のみ)	午前 8:00～11:30		再来のみ	再来のみ 糖	血 呼	内 リ	(水) 糖尿病 (木) 血液 呼吸器 (金) 内 分泌・糖尿病 ※(第2,4金) リウマチ・こう原病 (木) 神 神經内科 (金) 禁 禁煙
	午後 1:00～3:00		再来のみ	再来のみ	神	禁	
消化器内科	午前 8:00～11:30	●	● 肝	●	●	●	(火) 肝臓
	午後 1:00～3:00		●				※専門外来の初診は事前に内科外来にお問い合わせください。
外科	午前 8:00～11:30	●	●	●	●	●	(月～金) 乳 乳腺外来・乳がん検診受付は 午前8:00～11:00 (木) ストーマ外来 (予約) 午後1:00～2:30
	午後 1:00～3:00	●	●	●	ス	●	
整形外科	午前 8:00～11:00	再来 予約のみ	●	●	●	再来 予約のみ	
	午後						
小児科	午前 8:00～11:30	●	●	●	●	●	(火) 心 脳・川崎病・慢性疾患 (予約) (木) 健 乳児健診 (予約)、4ヶ月健診児 BCG 接種 (予約) 予 防接種 (予約) ※(3,9月の第1金) 神 神經外来 (予約)
	午後 1:00～3:00	●	心	●	健 予	● 神	
婦人科	午前 8:00～11:00	●	●	●	●	●	
	午後 1:00～3:00	●	●		●		
眼科	午前 8:00～11:00	●	●	●	●	●	
	午後						
耳鼻咽喉科	午前 8:00～11:00	●	●	●	●	●	
	午後 1:00～3:00	●					
皮膚科	午前 8:00～11:00	●	●	●	●	●	
	午後						
泌尿器科	午前 8:00～11:00	●	●	●	●	●	
	午後						
麻酔科	午前 8:00～11:00	ペ		緩	ペ		(月),(木) ペペインクリニック (水) 緩和ケア
	午後						
放射線科	午後 1:00～3:00	●		●			
	午前						
形成外科	午前 8:00～11:00	●	●	●	●	●	
	午後						
脳神経外科	午後 (予約制)		●				※内科外来にて電話での予約となります。(予約時間午後2:00～5:00)

小樽市立脳・循環器・こころの医療センター

小樽市長橋3丁目11番1号 TEL 0134(33)4151

診療科	時間	月	火	水	木	金	専門外来・受付時間など
循環器内科	午前 8:40～11:00	●	●	●	●	●	午前の再来受付は8:40～11:30
	午後 12:30～3:00	●	●		●	●	
心臓血管外科	午前 8:40～11:00	●		●	予約のみ	●	午前の再来受付は8:40～11:30 (水) 下 下肢静脈瘤
	午後 1:30～3:00			● 下			
脳神経外科	午前 8:40～11:00	●	●	●	●	●	午前の再来受付は8:40～11:30
	午後 1:30～3:00	●	●	●	●	●	
精神科	午前 8:40～11:00	●	●	●	●	●	午前の再来受付は8:40～11:30
	午後 1:00～2:00	※	●	●	●	再来 予約のみ	※午後の再来は予約のみ、(金)の午後は新患者受付していません。
放射線科	予約 9:30～2:00		予約のみ				



小樽市病院局ホームページ

<http://www.city.otaru.lg.jp/med/>

携帯サイト用

両市立病院の新着情報、ニュース、職員募集情報、新市立病院のお知らせ、看護学院情報などを掲載しています。

小樽市病院局 検索

発行) 小樽市病院局 編集) 広報誌・HP部会

【事務局】経営管理部管理課 TEL 0134(25)1211 内線 304



循環器とは、心臓と血管を中心とした諸臓器を指し、循環器内科はそれらの病気を診療する科です。ただし脳血管の病気は脳神経外科、血液の病気は血液内科、また心臓・血管の手術は心臓血管外科（循環器外科）が担当しますが、重複する部分もあります。



医師

高川

芳勲

古川

哲章

嘱託医

高川

志保

循環器内科で診療している大半の病気の原因

動脈硬化とは？！

動脈硬化とは、わかりやすく言えば血管の老化現象です。年を取ってシワができたり骨折しやすくなったりするのと同じで、血管も年を取ってもろくなっています。動脈硬化の進んだ血管は酸素や栄養を全身に運びにくくなり、時に破れたり詰まつたりして重篤な障害を引き起こします。その中でも脳卒中や心筋梗塞は命に関わる重い合併症です。

動脈硬化は早ければ20代から徐々に進行し、現代医学ではその進行を完全に抑えることはできません。けれども動脈硬化の進み具合には個人差があり、いわゆる「血管年齢」が実際の年齢よりも早く進んでしまう場合もあります。動脈硬化を促進する因子には、代

当センターの循環器内科では、特に狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患に対する血管内カテーテル治療を重点的に行ってています。他にも不整脈に対するペースメーカー治療や、動脈硬化の進展予防のための高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、高尿酸血症の治療、

禁煙治療も併せて行っています。腎臓の病気は腎臓内科や泌尿器科が専門ですが、腎臓の働きが極度に低下した腎不全や腎不全が進行して人工透析になった場合の治療は、当科で担当しています。

早めに発見して予防しましょう



動脈硬化の5大要因

1. 高血圧症
2. 高脂血症
3. 糖尿病
4. メタボリック症候群
5. 喫煙

上記5大要因に該当する状態で十分な治療をせず放置すると、1つ該当すればリスクは約2倍、2つ該当すれば約4倍、全て該当すればリスクは10倍以上になると予想されます。

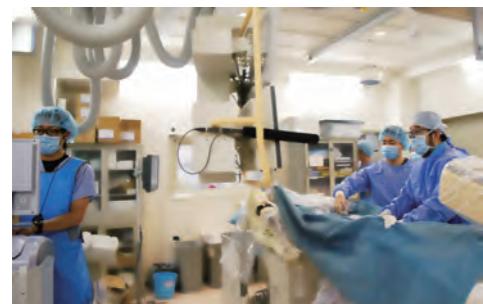
血管内カテーテル治療

表的な5つとして高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、腹部肥満（内臓脂肪）、喫煙があります。動脈硬化による合併症が起きるのは血管がぼろぼろの末期状態になってからなので、そこから治療を始めても手遅れであり効果がありません。できるだけ早くにこれらの因子に気付いて、適切な予防治療を行うことが大切です。病院に行かなくても自分でできることは、食事はバランス良く取り食べ過ぎないこと、適度な運動をすること、タバコを吸う人は禁煙することです。血圧は家庭血圧計で自己管理も可能ですが、血糖やコレステロールは健診などで定期的にチェックしましょう。

主に動脈硬化が原因で心臓の血管（冠動脈）が細くなったり詰まつたりして心臓の働きが悪くなる病気が、虚血性心疾患です。血管を広げる薬などによる薬物療法では効果が不十分な場合、血管そのものを修理して血液の流れを良くする手術療法があります。手術療法には、動脈硬化が進んだ部分を飛び越してその先に血管をつなぐバイパス手術と、動脈硬化が進んだ部分そのものを血管の内側から広げるカテーテル手術があります。バイパス手術は動脈硬化の重症度による成功率の差が小さい利点があり、重症例に多く行われる傾向があります。カテーテル手術は体への負担が小さいことが特長で、日本ではカテーテル手術が8割以上です。

当院では、カテーテル治療による体への負担を最低限にするため、足の付け根ではなく手首の血管からカテーテルを進める方式を基本としています。また標準よりも細いサイズのカテーテルを使い、さらにシースと呼ばれる鞘を使わずにカテーテルを直接血管に入れ「シースレス（鞘なし）」法を積極的に行っています。直徑でほんの1mm程度カテーテルが細くなるだけですが、直徑2-3mmほどの手首の血管に差し込みますので、その差は痛みや出血、血管のダメージを大幅に減少させます。

小樽市立脳・循環器・こころの医療センターの 臨床工学技士



小樽市立脳・循環器・こころの医療センターには3名の臨床工学技士が在籍しています。臨床工学技士とは、「医師の指示のもと生命維持装置の操作・保守管理」をする医療技術職です。

循環器内科部門の業務として、カテーテル業務と透析業務があります。

カテーテル室では、主に治療機器の管理や血管内超音波装置などの操作を行い医師のサポートを行っています。患者さんの容体も他のスタッフと連携し常に観察しています。

透析業務では、人工透析装置の操作・管理を行い、チームで常に安全な治療を心掛けています。

臨床工学技士 南出 薫 (写真中央)・石田 純也 (写真右)・大沢 卓爾 (写真左)

小樽市立脳・循環器・こころの医療センター リハビリテーション科に新たな専門職

脳神経外科分野の 作業療法士・言語聴覚士 が着任しました。

身障分野の作業療法士の業務内容は、脳血管障害などによる中枢・末梢性のまひや、精神・高次脳障害などの諸機能が回復するよう、寝たきりの患者さんの適切な姿勢や位置などの調整を行ったり、手洗いや着替えなど日常生活動作の訓練、指導を行います。

『精神的にも大変な時期のリハビリの中で、一緒に前向きに生活を考えられるよう援助させていただきます。』

作業療法士 植村 真生



言語聴覚士は「話す・聞く・食べる」ことを支援する専門職です。救急搬送される脳神経外科の急性期患者が多い医療センターでは、手術後の身体的な訓練や指導を行っていく作業療法士と連携して、「話す・聞く・食べる」ことの支援、訓練を行います。

『楽しくお話しすること」「おいしく食事をすること」の喜びを再び感じていただけるようお手伝いします。』

言語聴覚士 矢巻 孝宏



今、注目したい！

気になる 目 の病気

増加中

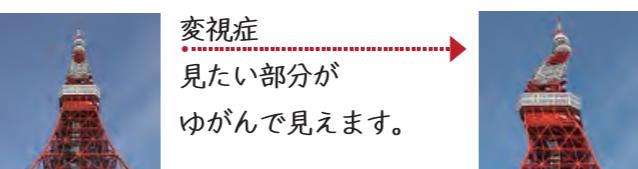
加齢黄斑変性

種類

【滲出型】眼球の中の黄斑部分に生えた破れやすい新生血管（異常血管）からの出血などにより、ものを見る細胞の機能に障害をきたします。病状の進行が速く、急激に視力が低下するので、早期発見で進行を食い止めることが重要です。

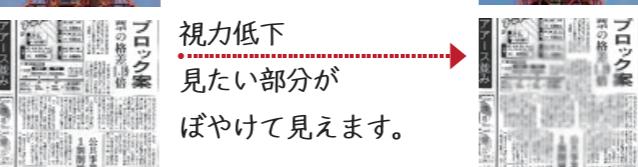
【萎縮型】加齢により網膜の細胞が変性し、老廃物が蓄積して栄養不足になり、細胞が徐々に萎縮していく機能が低下します。

症状



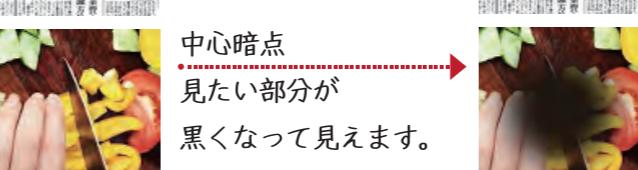
変視症

見たい部分が
ゆがんで見えます。



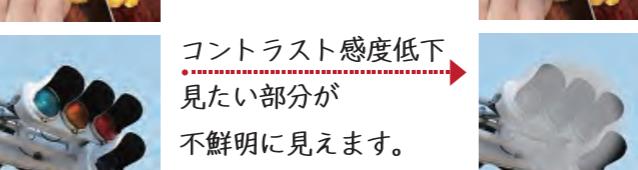
視力低下

見たい部分が
ぼやけて見えます。



中心暗点

見たい部分が
黒くなって見えます。



コントラスト感度低下

見たい部分が
不鮮明に見えます。

治療

【滲出性加齢黄斑変性】の診断がついたら硝子体注射による継続した治療を行います。硝子体注射により新生血管の増殖を抑え、病気の進行を遅らせることができます。

加齢黄斑変性の原因は文字通り「加齢」ですが、加齢だけでなく、明らかな危険因子として「喫煙」があげられています。やめればリスクは低くなるので、今からでも遅くありません。その他、太陽光、肥満、高血圧症、脂質異常症、偏った食生活なども要因とされています。最近では、パソコンやスマートフォンのブルーライトも、研究の対象となっています。

9月7日(土)14時～市民センターマリンホールで松田医師が講師となる目の健康講座（主催：日本眼科医会）が開催されます。テーマは「加齢とともに来る目の病気 白内障・緑内障・加齢黄斑変性」です。

市立小樽病院 眼科
医師 松田 泰輔

未期まで
自覚症状がない

とうようびよう もうまくしょう
糖尿病網膜症

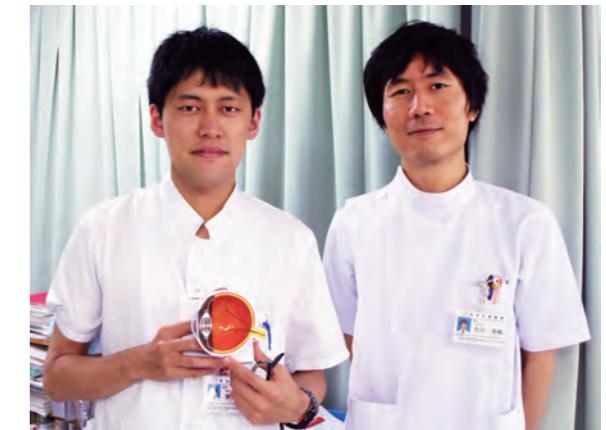
糖尿病網膜症は、失明原因第2位の眼疾患です。それほど重篤な疾患なのに、未期まで自覚症状がほとんどなく、気が付いた時には失明寸前ということがあります。

内科などで「糖尿病」と診断されたら、眼科も一緒に定期検診することが大切です。更に、糖尿病の症状が改善（血糖値の安定など）したからといって、眼科の受診を自己判断で止めないでください。血糖値が安定しても、網膜症のみ進行する場合もあります。

眼疾患は気付きにくいものが潜んでいます。

大切な眼を守るために、
定期的な検診で、早期発見、早期治療を！

市立小樽病院 眼科に 郷田医師が着任しました。



市立小樽病院の眼科はこれまで、松田 泰輔医師（写真右）1名での診療体制をとっていましたが、今年7月、郷田 善亮医師（写真左）が着任し2名体制となりました。

市内では市立小樽病院のみ行っている硝子体手術や硝子体注射も、今までより待機期間も少なく、スムーズに行うことができるようになりました。

健康な眼で生活できるよう、サポートいたします。

どうだ よしあき
医師 郷田 善亮

合同健康教室を開催します

「医療費について～知って得する医療制度」

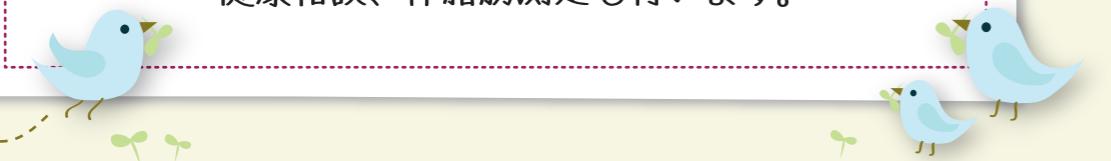
もし、病気になったら検査費用や入院費用がどのくらい掛かるのか、不安に思う方は多いと思います。医療福祉制度を上手に使うと自己負担が軽くなる場合もあります。

自分がどんな仕組みを利用できるのか知っておくと、いざと言う時に便利です。

とき 9月28日（土）午後2時～3時30分

ところ 市立小樽病院6階講堂

健康相談、体脂肪測定も行います。



がん相談支援センター ご利用案内

市立小樽病院では、がんに関する相談をお受けしています。検査、治療、費用に関することや、緩和ケア、ホスピス、セカンドオピニオンについてなど、患者さんや、ご家族の方はもちろん一般の方からの相談にも応じています。



電話での相談も行っていますが、相談内容によってはご来院いただき、直接お話しを伺えるよう調整させていただくことがあります。

また、がんに関する雑誌、書物も揃えておりますので、自由にご覧いただけます。お困り事がある方は、まずは気軽に電話ください。

地域医療連携室（がん相談支援センター）TEL 0134(25)1211（内線377）



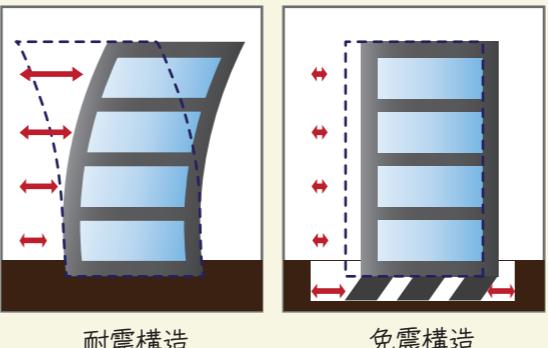
市立小樽病院の専門外来が更に充実！

内分泌・糖尿病外来を新設しました

原因のはつきりしない疲れや肥満、痩せ、無月経、治療に抵抗する高血圧などには、ホルモンの異常による病気がたくさん隠れています。内分泌・糖尿病外来では、なかなか気付かれないことが多い、ホルモン臓器（甲状腺、脳下垂体、脾臓、副腎など）の病気や骨粗しょう症、脂質異常症（高脂血症）、糖尿病などの生活習慣病の診断と治療を担当します。

診療日：金曜日 受付時間：8時～11時30分 市立小樽病院 内科外来 TEL 0134(25)1211

免震工事を行っています



新市立病院では、地震に強い「免震構造」を採用しました。「免震構造」は、基礎と建物の間に積層ゴムなどで作られた装置を取り付けて、地震のエネルギーを吸収することにより、建物の揺れを大幅に軽減するものです。このため、大地震の際でも建物への被害や医療機器の転倒など病院機能への影響がほとんどないことから、地震の直後でも医療活動を続けることが可能となります。また、患者さんの揺れに対する恐怖感も軽減することができます。東日本大震災時に甚大な被害を受けた石巻市内でも、「免震構造」の石巻赤十字病院は地震の後も病院機能が維持でき、多くの人命救助を行ったと報道されています。

⑤ 小樽市病院局は毎年、潮ねりこみに参加しています。

今年も両市立病院職員、高等看護学院生、総勢約300名で参加しました。

